

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジ ROAD

2014年
夏号
vol.2

INDEX

- ◆ 事業紹介
- ◆ 事務・社会福祉職採用試験のあらまし
- ◆ 人間力豊かな人材の育成を目指して
- ◆ イベント報告
- ◆ イベント情報
- ◆ 募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



平成25年度 業務研究等事業の 報告

7月31日に、平成25年度業務研究等事業の報告会を開催しました。この事業は、質の高いサービスを提供する基盤となる研究等を推進し、職員の職務能力等の向上を図るために行うものです。今年度は、7人の職員が発表を行いました。

①看護師の高次脳機能障害者の行動観察における評価の視点(看護科 藤山美由紀)

看護師が高次脳機能障害患者の行動を観察する視点に関してデータを収集・分析した。評価は主に成長過程と回復過程からみる二つの評価形成プロセスで成り立っていることが示唆された。

②脳血管疾患患者に対する運動療法の効果に対する研究(福祉スポーツ課 東昌代)

脳血管疾患患者に対する体力テストのうち、統合性テストのタイムを体力維持の指標とすると、トレーニング頻度等による体力維持群・低下群の人数には差がないことが示唆された。

③Pmodを用いたPET画像のROI設定方法の検討(企画研究室 布谷隆史)

新たに導入した画像解析ソフト(Pmod)での関心領域(ROI)の設定方法を検討した。手動で設定したROIと自動的に設定したROIで解析した結果は、特に尾状核などで差が大きくなった。

④失語症者の在宅生活実態に関する調査(言語聴覚科 古川真理子)

失語症者の社会参加状況や望む支援内容について調査を行った。在宅生活を送る失語症者の介護保険施設以外の社会参加は少なく、望む支援内容は生活状況によって異なっていた。本人の認識や家族の介護負担感の多面的・客観的な把握が有効であると考えられる。

⑤失語症者の就労生活実態調査(就労支援課 加藤朗)

就労支援課を利用した失語症者の就労生活の実態について調査を行った。就労状況の違いで、失語症の重症度に有意差はなかったが、就労の成否の鍵となる要素を探るため、次年度も引き続き研究を実施する。

⑥PET脳循環代謝画像における健常ボランティア検査の実施と高次脳機能障害診断指標構築に関する検討(企画研究室 日比野新)

^{15}O 標識ガスPET検査の正常値を得るため健常ボランティアの検査を行い、正常値の域値を決定した。MRIと比較して、PETによる高次脳機能障害の検出感度は高いが、特異度が低いことが示唆された。

⑦ボツリヌス療法とCI療法の併用による効果についての検討(作業療法科 吉川美佳)

ボツリヌス療法とCI療法を併用し、併用療法前後、1カ月後、6カ月後の上肢機能評価結果の変化を比較した。併用して行うことで、能動的な上肢機能の向上や麻痺側上肢の日常生活上での実用度の向上に効果的である可能性が示唆された。

■ 平成26年度業務研究等事業の紹介



平成26年度に実施されている業務研究等事業は以下の通りです。

- ①新しいPETカメラ（mCT）を用いた検査の
normal data baseの構築（放射線診断部 飯田昭彦）
- ②高次脳機能障害者の作業遂行特徴に関する研究
—箱づくり法を用いて—（作業療法科 伊藤竜二）
- ③シーメンスPET画像と島津PET画像の画質評価
（放射線診断科 満島岳珠）
- ④失語症者及び家族に対する支援
—失語症者の参加支援を目指して—（言語聴覚科 諸岡雅美）

実施予定 失語症者の就労生活実態調査（その2）（就労支援課 加藤朗）

業務研究等事業で報告されたものは、年度ごとに研究紀要にまとめ、事業の成果を広く周知していきます。

■ 介護ロボットに関する取り組み

高齢化に伴い、介護従事者の確保と負担軽減が重要課題となっており、国は介護ロボットの開発と普及に関し各種事業を行っています。

事業団は今年度、福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の介護ロボット普及モデル事業（厚生労働省主管）を行うほか、ロボット介護機器導入実証事業（経済産業省主管）を実施します。

ロボット介護機器導入実証事業では、ロボットを製作する「製造事業者」、使用する「介護施設」、両者を仲介し導入講習・効果検証を行う「仲介者」がチームとなり、移乗介助等の分

野のロボットを介護現場に導入し、その効果検証を行います。

今回は今仙技術研究所（製造事業者）、なごや福祉施設協会（介護施設）、事業団（仲介者）のチームで、電動簡易移乗機i-PALを特別養護老人ホームに導入します。9月から導入、効果検証を行い、来年

1月に事業完了予定です。事業団では、企画研究室、なごや福祉用具プラザ等が協力して進めていきます。



事務・社会福祉職採用試験のあらまし

大学就職説明会に参加しました！

近年、事務・社会福祉職採用試験への福祉系の学科を専攻している学生の応募が減少傾向となっているため、新たな試みとして、日本福祉大学の学内就職説明会に参加しました。

この日、事業団のブースに訪問してくれた学生さんは11名。学生さんの緊張をほぐしながら話し、精いっぱい事業団の概要説明とPRを行いました。



事業団就職説明会を開催しました！



7月30日と8月5日に、就職説明会を開催しました。

“職員の話”では、4課の職員が「福祉の資格がなくても大丈夫。先輩のサポートがあり、和やかな雰囲気です」「余暇も充実しています」「自分が関わることで、利用者さんが社会復帰できたときは、とてもうれしく感じます」など、業務内容などについて話をしました。

平成26年度採用試験について

平成27年4月1日採用予定の事務・社会福祉職採用試験の第一次試験は、9月17日（水）に実施します（申込締切：9月5日（金）必着）。

今年度は、事務・社会福祉職の他、看護師、理学療法士、作業療法士等の採用試験も予定しています。最新情報は、事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。



人間力豊かな人材の育成を目指して

～事業団人材育成のあらまし～



人材育成基本方針（平成24年3月策定）

環境の変化等に対応しながら、高い専門性、人間性を有する職員を育成し、総合的な組織力を高めるため、基本方針を策定し、具体的な取り組みを推進しています。

■目指す職員像

「高い専門性」「幅広い視野」「確たる理念倫理」「高い目標と実行力」「温かさと豊かさ」

■育成の方策

- ・職員研修（共通研修、専門分野別研修） ・職場環境づくり（OJTの推進支援、職場環境の整備）
- ・諸制度（育成面談制度、自己啓発支援制度、業務研究等推進制度）

【平成26年度の計画】

職員の人材育成に対する意識を向上させ、継続的に成長していく職員、組織を目指した取り組みを実施していきます。

1：各階層に求められる能力の向上（新人、若手、中堅Ⅰ、中堅Ⅱ、課長リーダー）

- （1）外部講師による業務改善に関する研修の実施（H26 6回実施予定）
プレゼンテーション、ファシリテーション、企画力等の研修の実施
- （2）上位階層による下位階層の研修の企画実施（H26 4回実施予定）
（1）の受講内容の実践と職員のつながりづくりを目的とした取り組みの実施
- （3）これからの事業団についてのグループワークの実施（H26 3回実施予定）
課長・リーダー職が、自ら考え共有し実践で活かすためのワークの実施

2：人材育成部会作業部会の効果的運営

重点項目（専門性向上、共通研修、職場環境の整備、制度）の検討と作業部会メンバー（新任課長・リーダー層）の育成を目的とした運営

この他、連携と育成を目的として、研究の推進、外部研修への派遣、他法人との人事交流、学生の臨床実習等の受け入れを行っています。

平成26年度前期取り組み内容

- 研究方法に関する勉強会の実施（6回コース）
- 共通研修の実施
- 育成面談制度の試行実施

具体的な取り組みは、
事業団経営戦略計画を踏まえ、
さまざまな職種で構成された
4つの作業部会が検討・提案
しています。

イベント報告

納涼祭2014



平成26年7月26日（土）に、名古屋市障害者スポーツセンターで、納涼祭2014を開催しました。



オープニングのこだま・ひびきの和太鼓演奏から始まり、名古屋サイクロンズ（アメリカンフットボールXリーグ所属）のイベント、加藤社中による盆踊り、ZADANIによるバンド演奏とダンス、お楽しみ抽選会など盛り上がるイベントが目白押しでした。また、会場の1階ロビーには、東きふね幼稚園、高針北保育園、画家で利用者でもある坂下眞さんの絵画が飾られました。恒例の屋台や名東消防署の防災、似顔絵、折り紙、ワークショップの各ブースも盛況で、会場はたくさんの来場者で埋め尽くされました。



特に注目を集めたのが、今回が初めてとなる名古屋サイクロンズのイベントです。実際の試合を想定したフォーメーションやタックル、ハドルなど、迫力のあるプレーに、会場は大いに盛り上がりました。また、子どもたちとのゲームや盆踊りにも選手のみなさんの参加があり、来場者との楽しい交流の場となったと感じています。

今年のテーマ「夏だ！踊りだ！輪になって踊ろう！」の通り、来場者が輪になって踊り、心がひとつになったような、とてもよい雰囲気イベントとなりました。



イベント情報

障害者支援施設説明会

日時：11月20日（木）13:00～17:00

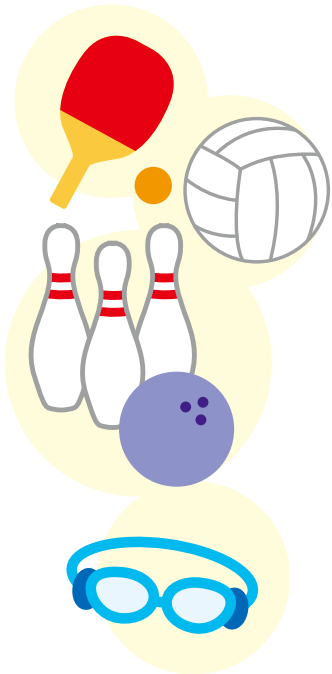
場所：名古屋市総合リハビリテーションセンター

対象：支援機関の職員各機関1名まで。先着40名。

受付：10月1日（水）～31日（金）

申込：氏名、所属、連絡先を下記FAX（自立支援部生活支援課）まで。

電話：052-835-4193 FAX：052-835-4581



名古屋市障害者スポーツ大会

- | | |
|-----------|-----------|
| ①バレーボールの部 | 10月21日（火） |
| ②ボウリングの部 | 11月16日（日） |
| ③卓球の部 | 11月23日（日） |

東海障害者水泳記録会

日時：10月26日（日）

場所、対象者等詳細は、事業団ウェブサイトで。

問合：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

家族介護者教室

「知っ得！体験しながら学ぶ介護のポイント」

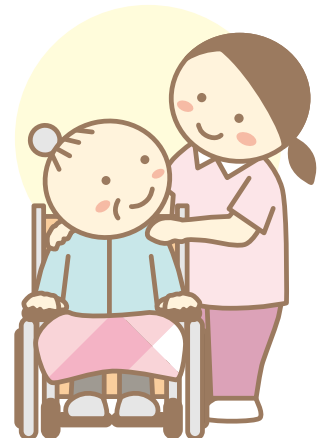
対象：介護をしている方、介護に関心のある方。

東部・北部・中部・南部・西部で実施。各4回。

場所等詳細は、事業団ウェブサイトで。

問合：なごや福祉用具プラザ

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056



事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

正規職員 看護師

嘱託職員 看護師、生活支援員補助、入浴介助、体育指導員、精神保健福祉士、調理補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>



事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710